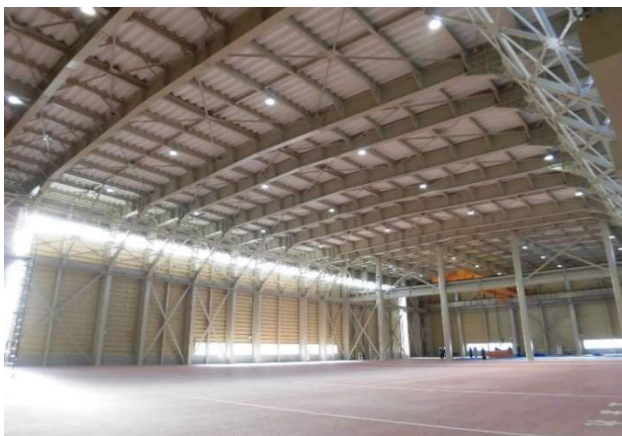


金沢港 県営東部上屋



(目的) : 金沢港機能強化整備による無量寺・戸水ふ頭に点在するコンテナ上屋の集約。走行クレーン付倉庫(3,000㎡)の新設。隣接倉庫(4,500㎡)との連携を考慮。本建物の1/3は天井走行クレーン(揚重量30t)による運搬・荷捌きが可能。金沢港のランドマークの一つとして、隣接倉庫と外壁を白に統一、シャープな窓ライン、箱型の全体フォルムがスタイリッシュな倉庫である。



内観全景



天井走行クレーン部



(計画) 機能性・安全性を重視した倉庫:

- ・高効率な大型走行クレーン、耐久性の高い内外装
- ・歩行通行帯・出入口ガードポールで人・建物・車両の安全を確保

(外観等) スクエア型倉庫:

- ・美観を考慮した白の箱型倉庫。金沢港・金沢港大橋から見える南面はシャープに窓を配置

(耐震性)

建物は杭長41mx76本の先端節付PHC杭で支持。敷地は深さ2.55mで地盤改良。鉄骨構造体は軒高14.5mの高さを中間梁で2層に分け、上下に壁ブレースを適所に配置する事により耐震性を高めている。

コスト縮減

設計地盤高まで盛土が必要な敷地において、盛土と地盤改良を1層・2層の2期に分けて施工。本工事前に1層高まで盛土→1期地盤改良→杭・基礎工事→2期地盤改良による盛土と施工する事により杭頭までの根切り土を大幅に削減。

長寿命化

外壁・屋根に耐久性の高い塗装ガルバリウム鋼板を使用。外壁:厚膜ウレタン塗装、屋根:ふっ素樹脂塗装。床:変形・沈下が発生しにくい半たわみ舗装を採用。改修・補修・メンテナンスの必要が少ない、長寿命な建物である。



杭工事の現場発生土を地盤改良による盛土に使用。

天井走行クレーン 揚重量:主巻30t、補巻15t
揚程10.5m、全長23.65m

DATA

⑥業務事業施設
金沢市湊3丁目地内
平成30年2月～平成31年1月
鉄骨造:平屋建
延床面積2,997.28㎡